

人の長所が多く目につくのは、幸せです。

松下幸之助（パナソニック創業者）

ゆめ かなう
夢叶



岡山市立石井中学校
第3学年 学年だより 6月号
令和6年6月3日（月）発行



『つながる 支える 高め合う～自分の未来を切り拓こう～』

6月は1学期の大きな山！部活、勉強、全てのことに全力で！

行事続きの5月でしたが、修学旅行も、体育大会もみんなの力で大成功を収めることができました。一人一人が自分の役割を果たし、お互いを支え合っの素晴らしい成果です。行事を乗り越えて、また大きな成長と、思い出のピースを手に入れることができました。さて次は6月、目指すは文武両道。運動部は最後の大会に向けて自分のベストを尽くすこと。そして勉強面では、自己診断テストや期末考査に向けて、自分の課題にしっかりと向き合い、実力をつけていくことです。どちらも落とせない、勝負の時。思い残しの無いよう、日々を大切に、精一杯取り組んでいきましょう。

1) 何よりも体が資本。規則正しい生活で体調管理を万全に。

⇒体調を崩しては、やりたいこともできません。早寝、早起き、朝ご飯、睡眠時間も十分とって、体調を万全に整えていこう。（優先順位はわかっていますか？提出物などもギリギリになって慌てないように）

2) 「大変なこと」こそ、楽しんで。苦しい時は、「自分が伸びているとき」だと思ふこと。

⇒「今、まだやれる」時期であることに感謝を。そして何事も最後まであきらめずに頑張ろう。（昇降口の「卒業生からの言葉」を改めて読んでみよう。今だからこそ響くメッセージが多数あります。）

修学旅行を振り返る。楽しく学べた、かけがえのない3日間でした。

4月29日（月）～5月1日（水）の修学旅行。GW期間中で、混雑を予想していましたが、特に交通渋滞もなく、無事に全行程をこなすことができました。集合時間やきまりなどもみんなが意識して行動してくれ、大変スムーズでした。保護者の皆様には、朝早い集合や送迎等、大変お世話になりました。

・全部が楽しくて、思い出に残る3日間だった。小学校以来、初めての宿泊だったり、普段できないことが友達と出来たり、小学校の時に行っていないからよけいに楽しく感じた。もう2・3回は行きたい。
・初めての修学旅行だったけど、友達が協力してくれたり、先生たちがサポートしてくれたおかげで楽しい3日間が過ごせた。平和学習では、真剣に落ち着いて学んだり、観光ではグループで楽しんで行動できた。これからの体育会や四つ葉祭などの行事も協力して頑張っていきたい。受験生なので勉強も今までよりももっと頑張っていきたい。

平和学習の感想は裏面へ→

中学校最後の体育大会。みんなの頑張りは最高でした！



今年の体育大会も本当によく頑張りと、素晴らしく盛り上がりました。円陣を組んでのエールも3年生らしく、自分たちで盛り上げる意気込みと頼もしさを感じました。「この瞬間がずっと続けばよいのに・・・」と思えるほどの本当に清々しい時間でした。保護者の皆様も、お忙しい中多数ご参観くださり、温かい声援をありがとうございました。



行事予定 6月

◆梅雨の時期、体調に気をつけよう。期末考査に向け落ち着いた生活を。

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	土		16	日	
2	日		17	月	
3	月	教育相談② 残量調査（～7日（金）） 生徒総会準備	18	火	考査発表（2週間前）
4	火	教育相談③ 内科検診 尿検査二次	19	水	学校集金日
5	水	研究授業	20	木	個別懇談①（木の①②⑤⑥）
6	木	自己診断テスト	21	金	個別懇談②（金の①②③④）
7	金	生徒総会⑤⑥ 就学援助申請締め切り	22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	個別懇談③（月の①②⑤⑥）
10	月	教育相談④	25	火	個別懇談④（火の①②⑤⑥） 考査発表（1週間前）
11	火	教育相談⑤ 考査発表（3週間前）	26	水	
12	水	職員会議	27	木	
13	木	眼科検診	28	金	
14	金		29	土	
15	土		30	日	

【主な7月予定】 2日（火）期末考査①（給食なし） 3日（水）期末考査②（給食あり） 専門委員会
12日（金）給食最終 17日（水）大掃除 18日（木）ワックスがけ 19日（金）1学期終業式

3年間の平和学習の集大成。被爆体験記の朗読、平和集会



修学旅行の1日目に平和学習をしました。1年生での岡山空襲戦跡巡り、2年生の広島研修、そして集大成としての長崎平和学習です。今回のテーマは「長崎を最後の被爆地とするために、自分たちができることは何か。」事前学習では、戦後の被爆者の方々の苦しみにも触れ、現地に赴きました。原爆資料館の見学、体験記の朗読、平和集会どの場面でも真剣に取り組むことができ、その姿勢は素晴らしいものでした。

体験記を朗読してくださった尾崎さんも「こんなにもみなさんが真剣に聞いてくれるとは思っていませんでした。素直で真っ直ぐな視線に、圧を感じました。」とお褒めの言葉をいただきました。その後の平和集会も、実行委員さんの真剣な気持ちにみんな先導され、平和宣言も今までで一番素晴らしかったです。ぜひあの時の体験や、自分で感じたことをこの先ずっと忘れないでください。平和な未来を作るのは、あなたたちです。

朗読を聴かせていただいて感じたこと、特に印象に残ったこと

・戦争は終わったけど、家族は戻ってこないと言う言葉にすごく心が痛くなった。戦争の話を知るといつも悲しくなるけど、朗読を聴いてより戦争の辛さや苦しみ、痛みがわかり、もっと悲しい気持ちになりました。なぜこんなことが平気でできるのか。このようなことは二度とおきてほしくないです。

・「亡くなった人は骨も残らずに灰になった」と言う言葉から原爆はとても恐ろしいものだと感じた。
・黒本の「骨のない墓」という言葉から、原爆の強さや被害の大きさが分かった。また、被爆者のすべて失われて何も残っていない辛さを感じた。被爆者の「家は残らない。戦争のむなしさだけが残る。」という言葉から、跡形もなく全て壊す原爆は二度と落としてはいけないと思った。

平和な未来を作るために自分ができること、しようと思うこと

・互いが互いのことを思って行動していくことが大切だと思った。「ありがとう」と「ごめんなさい」は大切。
・当時を知ること、忘れないこと、伝えること、この3つを頑張ろうと思います。
・原爆や戦争の恐ろしさは経験者以外には完全には分からないけど、体験談を聞いたり、実際に遺品を見たりして思ったことを周りの人にいっぱい話していきたいと思った。
・被爆者の方々が、思い出したくもないのに、未来の人たちの役に立つようにと体験記を書いてくださったので、私たちも被爆者の方の思いをつないでいけたらいいなと思った。
・原爆の恐ろしさを次の世代に伝えていくこと、身近な人を大切にすることが自分にできることだと思った。
・詩の中にもあった「二度と繰り返してはならない」という被爆者の思いや願いを受け取り、後世に伝えていかなければいけないと思った。今も世界では戦争が続いており、今すぐ戦争が亡くなって欲しいですが、それは今すぐ叶えられるものではありません。だから、身近なところから仲間と協力し、一人でも多く幸せだなと感じれるように笑顔で毎日を楽しもうと思いました。

無題

山口カズ子

人間の歴史始って以来 誰も見たことのない
光と熱と風とをもって炸裂した

あの日から三十四年
青い空を見上げて ただひたすら感謝する
戦争というものがない 今日この日だから

戦争というものがあつた時

人は夜が来ても 眠ることができなかった
空襲のサイレンにおののきおびえて
暗い床下の防空壕で夜を過ごした
腹が減っても食べるものがなかった

水のようなおかゆが一杯だけ
いもの葉っぱを浮かべてすすった

それでも人は重き銃をかついて
戦場へ出かけて行った

人を殺すため

父も子も行かねばならなかった
十五の少女も

手に鉄のやすりをにぎりしめ

昼も夜も 兵器というものを造り続けた
人が人を殺すために

そして真夏の太陽の照りつける日

ただ一つの原子爆弾が浦上の空に落とされた



体験記朗読の最後に、尾崎さんが読んで
くださった詩です。

